



平成24年4月23日

各 位

上場会社名 富士製薬工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 今井 博文
 (コード番号 4554)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 上出 豊幸
 (TEL 03-3556-3344)

第2四半期業績予想および通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年11月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年9月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,757	1,408	1,408	680	48.16
今回修正予想(B)	9,780	975	978	301	21.32
増減額(B-A)	△977	△433	△430	△379	
増減率(%)	△9.1	△30.8	△30.5	△55.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年9月期第2四半期)	10,745	1,684	1,686	1,039	80.80

平成24年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,487	3,524	3,528	1,986	140.65
今回修正予想(B)	21,700	2,775	2,780	1,405	99.50
増減額(B-A)	△1,787	△749	△748	△581	
増減率(%)	△7.6	△21.3	△21.2	△29.3	
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	21,623	3,565	3,545	2,204	167.63

修正の理由

第2四半期累計期間(平成23年10月1日～平成24年3月31日)の業績は、売上高につきましては、主力の診断用薬を中心に当初計画したほどの需要が見られず、流通在庫の解消に時間を要したことや前年同期と比較すると薬価改定を前にした買い控えの影響があったことなどから、当初予想を下回る見込みです。

利益面につきましては、前期に稼働した新注射剤棟(第5製剤棟)の償却費等が増加したことに加え、売上数量が伸び悩んだことなどにより、売上原価が上昇しております。販売費及び一般管理費につきましては計画を下回る見込みであるものの、売上原価の上昇をカバーするまでには至らず、営業利益、経常利益及び四半期純利益とも当初予想を下回る見込みです。

通期(平成23年10月1日～平成24年9月30日)の業績は、第2四半期累計期間の影響に加え、主力の診断用薬の売上は回復基調にあるものの大幅な伸びは想定しにくいことなどから、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益とも、当初予想を下回る見込みです。

※業績予想につきましては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素がありますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上